

## 2018年第3四半期 国内サーバー市場動向を公表

**Japan, 2018年12月27日** - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社（所在地：東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長：竹内正人、Tel代表：03-3556-4760）は、2018年第3四半期（7月～9月）の国内サーバー市場動向を発表しました。2018年第3四半期の国内サーバー市場全体の売上額は1,378億円で、前年同期から14.5%増加しました。出荷台数は14万6千台で、前年同期から8.7%増加しました。

2018年第3四半期の国内サーバー市場は、2四半期連続で、売上額が前年同期比で2桁のプラス成長となりました。製品別ではx86サーバー（注1）とその他のサーバー（注2）が、前年同期比2桁のプラス成長となりました。x86サーバーは、2四半期連続、その他のサーバーは4四半期連続で前年同期比2桁のプラス成長となりました。一方、メインフレームは、4四半期連続で前年同期比2桁のマイナス成長となりました。

x86サーバーは、売上額が前年同期比26.8%増の1,171億円でした。ネット企業、通信、官公庁向けの大口案件やクラウドサービスベンダー向けの大口案件、官公庁、文教におけるテクニカル・コンピューティング用途の大口案件などが貢献し、2桁のプラス成長となりました。出荷台数は、前年同期比8.9%増の14万4,250台でした。その他のサーバーは、売上額が前年同期比17.5%増の112億円でした。通信向けビジネスサーバーの大型案件や、金融、製造向けRISCサーバー / IA64サーバーの大型案件などが貢献し、2桁のプラス成長となりました。出荷台数は、1.9%減の1,220台でした。メインフレームは、売上額が前年同期比48.5%減の95億円でした。前年同期にあった金融、製造向けの大型案件の反動で、2桁のマイナス成長となりました。

IDC Japan エンタープライズインフラストラクチャリサーチマネージャーの[下河邊 雅行](#)は「2018年第2四半期に引き続き、x86サーバーが国内サーバー市場を牽引した。クラウドサービスベンダー向けに加えて、ネット企業、通信、官公庁向けなど、クラウドサービスベンダー以外への出荷も増加し、国内サーバー市場全体の売上額の2四半期連続、前年同期比2桁プラス成長に貢献した。また、前四半期同様、x86サーバーの平均単価が前年同期比で上昇したことも、国内サーバー市場成長の要因になっている。x86サーバーの平均単価上昇は、搭載するプロセッサのコア数上昇、これに伴うメモリや内蔵ストレージの容量増加が背景にある」と述べています。

カンパニー別売上額では、富士通が首位を維持しました（参考資料）。メインフレームは、前年同期比で2桁のマイナス成長でしたが、x86サーバーは、文教向けテクニカル・コンピューティングの大口案件、通信、官公庁向けの大口案件などがあり、2桁のプラ

ス成長、その他のサーバーは、横ばいでした。2位は、NECでした。その他のサーバーは、官公庁向けの大型案件などで、3桁のプラス成長でした。メインフレームは、2桁のマイナス成長、x86サーバーも、マイナス成長でした。3位は、日本ヒューレット・パカード（HPE）でした。その他のサーバーは、2桁のマイナス成長でしたが、x86サーバーは、通信やサービス業向けの大口案件などがありプラス成長でした。4位は、デル（Dell Inc.）でした。ネット企業や通信向けの大口案件などがあり、2桁のプラス成長となりました。5位は前四半期より順位を一つ上げた日立でした。メインフレームは、金融向けの大型案件があり3桁のプラス成長、その他のサーバーは、2桁のプラス成長、x86サーバーもプラス成長でした。なお、ODM Directの売上額は前年同期比、23.6%のプラス成長となり、3位のHPEに次ぐ規模でした。

出荷台数は、富士通が首位を維持、HPEが順位を一つ上げ2位となりました。3位以下は、NEC、デル、Huaweiの順でした。なお、ODM Directの出荷台数は前年同期比、6.9%のプラス成長となり、3位のNECに次ぐ規模でした。

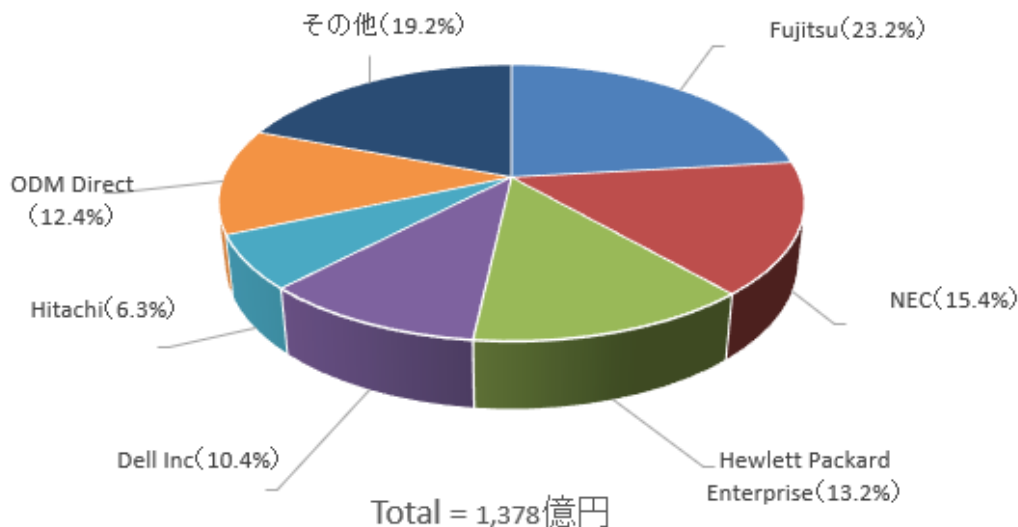
注1：「x86サーバー」は、x86アーキテクチャのプロセッサを採用しWindows、Linuxなどオープン系のOSを搭載したサーバーです。Itaniumプロセッサを搭載したサーバーやベンダー独自OSを搭載したサーバーはx86サーバーに含めません。また、「x86サーバー」と「メインフレーム」以外のサーバーを「その他のサーバー」として記載しています。

注2：「その他のサーバー」は、「RISCサーバー」、「IA64サーバー」、「ビジネスサーバー」、「スーパーコンピュータ -」の総称として使用しています。

< 参考資料 >

2018年第3四半期 国内サーバー市場カンパニーシェア【売上額】

Figure 1



※端数処理 [ 四捨五入 ] の影響により合計値の末尾が一致しません。

Source: IDC Quarterly Server Tracker, 2018Q3. Share by Company

## About IDC

IDC is the premier global provider of market intelligence, advisory services, and events for the information technology and telecommunications industries. IDC helps IT professionals, business executives, and the investment community make fact-based decisions on technology purchases and business strategy. Over 775 IDC analysts in 50 countries provide global, regional, and local expertise on technology and industry opportunities and trends. For more than 40 years, IDC has provided strategic insights to help our clients achieve their key business objectives. IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. You can learn more about IDC by visiting <http://www.idc.com/>.

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at [www.idc.com](http://www.idc.com).

All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

**For more information contact:**

jp-Press Japan

jp-press@idcjapan.co.jp

+81-3-3556-4768